

2013 旭硝子財団 助成研究発表会

7月29日、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、助成期間を終えた研究プロジェクト84件の成果発表、ならびに助成期間中の大型研究プロジェクト17件の中間発表が行われました。発表者をはじめ、現在研究助成を受けている研究者や当財団の選考委員、ご来賓など、多くの関係者にご出席いただきました。

開会にあたり、田中理事長の挨拶に引き続き、高橋滋選考委員長（一橋大学教授）から開催にあたっての趣旨

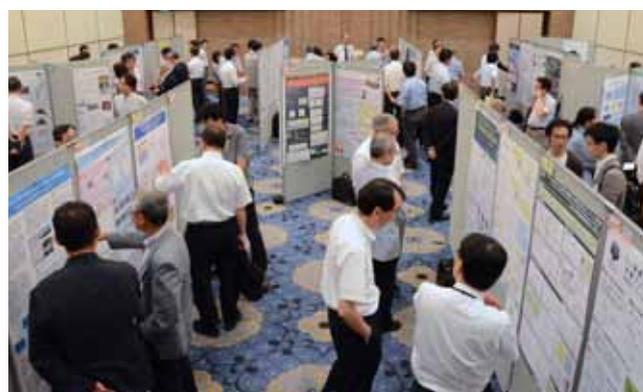
説明が行われました。その後、専門分野ごとに夕方まで3つのセッションに分けて、3分間スピーチとポスターによる研究発表が行われました。

それぞれのポスターの前では、専門分野の異なる研究者が集まって活発な意見交換が行われました。得られた成果についてだけでなく、今後どのような方向に研究を進展させるべきかといったことについて幅広くディスカッションが行われ、新たな学術協同関係が生まれるなど、大変に有意義な場となりました。

発表終了後には同じ会場で懇親会が開かれ、参加者の方々による交歓が行われました。



3分間スピーチ発表会場



ポスター発表会場

海外研究助成金贈呈式ならびに成果発表会

タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校 (KMUTT)

昨年から研究助成を開始したキングモンクット工科大学トンブリ校において、7月3日に2回目の贈呈式と初めての成果発表会が開催されました。Bundit Thipakorn 副学長による選考経過の説明、Sakarindr Bhumiratana 学長と田中理事長からの挨拶に続いて、新規助成対象者6名の研究予定内容の紹介や贈呈状の授与が行われました。その後、昨年の助成対象者3名の研究成果が発表されました。



Sakarindr 学長による挨拶



贈呈式会場にて Sakarindr 学長、田中理事長と助成金受領者